

高速道路からの河川堤防への資材搬入等を実施

木曾三川下流部で広域的な浸水被害が発生した場合を想定し、伊勢湾岸自動車道から揖斐川の河川堤防へクレーンを用いて資材を搬入する訓練を実施しました。また、バックホウによるコンクリートブロック投入訓練、オートフック（自動的に吊り荷ワイヤーからフックを解放）を活用した訓練を実施しました。訓練には、三重県建設業協会桑員支部の皆様約10名参加して頂きました。

- 日時：令和3年7月1日（木）9:45～11:00
会場：伊勢湾岸自動車道（下り線46.7kp）／揖斐川左岸堤防-0.2kの交差部
（三重県桑名市長島町松陰地先）
参加機関：三重県建設業協会桑員支部、木曾川下流河川事務所
訓練内容：
①高速道路からの資材（コンクリートブロック（5t））搬入訓練
②バックホウによるコンクリートブロック（5t）投入訓練
③オートフック（自動的に吊り荷ワイヤーからフックを解放）によるコンクリートブロック（5t）投入訓練



高速道路からの資材搬入訓練



BHによるコンクリートブロック投入訓練



オートフックによるコンクリートブロック投入訓練